

ナシ胴枯病 (Phomopsis canker)

Phomopsis fukushii



ナシの枝に発生した胴枯病



発病部から先端部位が早期落葉・枯死

発生生態

枝に病原菌が侵入し、病斑が拡大していきます。進行すると、早期落葉して樹は衰弱し、枯死することもあります。品種による発病の差が大きく、京都府のブランド品になっているゴールド二十世紀は比較的発病が少ない品種です。

防除対策

病斑は見つけ次第、切除または削り取りを行い、削り取った後には、必ず保護剤を塗布します。重症化させないためには、樹勢を強めに保つことが必要で、樹が衰弱しないように適切な着果量、施肥量で栽培することが重要です。